

和氣先生を偲ぶ

横田敏文(4回生)(2017.1.6 受理)

今も和氣先生が新婚時代に住んでいた家の横を通るたびに、懐かしく思いながら車で走っています。

和氣先生の家には何人かで自転車で集まり、美合の大川山へ出発した事が思い出されます。美合の小学校へ自転車を置かせてもらい、登山口から大川神社目指して登りましたね。午後から出発して、夜中に大川神社へ着くと、片目のおばあさんが、気持ちよく迎えてくれて、翌朝タケノコ(破竹)のかなり硬いのを、おらずに炊いてくれて食べたこともありましたね。たいがい、お米を1升持っていき、翌日は、植物採集や昆虫採集をしましたね。私には「キンラン」、「ギンラン」が思い出されます。



梶ヶ森や赤石山、二ツ嶽、そして、徳島の大滝山へも行きましたね。美合の大川山の頂上近くでは、毎回、見事な「クマガイソウ」を見ましたね。赤星山では「インガキチョウ」も見ましたね。勿論、クロアゲハ、モンキアゲハ、ミドリシジミ、…等、沢山の標本を作りました。植物の標本も沢山作った記憶があります(中2～高2)。そして、和氣先生が、お得意のガリ版刷りの「NATURE」を何年間も発行してくれましたね。原田浩さんを筆頭に我々も、採集日記を書き、また、暗室で何時間も写真を焼いたのを覚えています。納屋の古い本箱に大手前時代のものが残っていると思います。

学校を卒業してからは、和氣先生とは久しくお会いしていませんでしたが、母校の創立30周年記念行事をすることになって、当時の藤井同窓会長から、「横田君、教員は暇だろうから、役員になってくれないか・・・！」と言われたのが縁で、4回生の世話係にもなって、今だに事務局をしています(約40年も)。そして、和氣先生ともその後、合同同窓会や何かで、よくお会いすることがありました。私は生物部の時から蘭に興味がありましたから、キンラン、ギンラン、エビネ、クマガイソウ、…等と、山から採ってきて、庭に植えては枯らしていました。エビネ



はかなり長生きしましたが、今残っているのは、セキコクとフウランくらいです。そして、30年ほど前に洋蘭に興味を持ち始め、温室を建て、カトレアやシンビジウム(特にマリリンモンローやブリジッドバルド-)を求めて、高松の園芸店へ日参したこともありました。各地の洋ラン展にも通いました。東京ドームで開催された世界洋ラン展にも行きました。今も、その時のバンダが1株だけ残っています。和氣先生が病気になられたときは、お家の方へカトレアを持ってお見舞いに行きました。そのときは元気になられていたのですが、次にお会いしたのは病院でした。人に頼まれて、植物の名前を聞きに行ったのですが、そんなに悪くはなかったもので、退院したら、また行きますと言って、雑談をして帰りました。

新設の工業高校に16年間勤務して、次の多度津工業高校に行ってから約20年間園芸同好会を作り、毎年菊の花鉢を150～200鉢咲かせて、各教室に3鉢くらいずつ配り、環境整備係に水やりや管理をさせました。菊鉢は大菊を約40cm位の高さに育てる「福助」と云う栽培方法でした。これは父親が丸亀城の菊花展に出品していた時、手伝っており、また父が亡くなって苗がもったいなくて始めたものですが、校内の緑化活動にも役立ちました。また、校内のすべての樹木に、木札に名前を付けて、「和名、学名、原産地、通称名」等を書道の先生に書いてもらって、シュロの紐で、約100枚位生徒とともにつるしました。これは、昔、和氣先生が、丸亀城の見返り坂付近の樹木に、木札を付けたのをまねしたものです。その時、牧野富太郎の「日本植物図鑑」も役に立ちまし

た(図書室)。また、高知県の牧野植物園に子供を連れて行ったことも何度かあります。

今回の大手前の「ホームカミングデー」前日に、原田さんから和気先生のお墓参りをして、生物部OB会をするとの連絡があり、自分も参加させていただきました。今年は、美合の大川山へ登山することになっています。楽しみです。今後は、生物部OBとして、温室の手入れもして、カトレア、デンドロ、シンビ、バンダ、胡蝶蘭、…パイナップル等も育てよう頑張ります。

今も、香川県レスリング協会の会長や小学校のパトロールや警察の地域安全パトロールや農協の役員や4回卒の同窓会の事務局…畑仕事、孫の幼稚園の送迎等、忙しいですが、楽しんでやっています。それでは、今年もホームカミングデーや合同同窓会でお会いできるのを楽しみにして、乱文乱筆で失礼します。🐸